

県が堤防工事着手

戸倉海岸に8・7メートル傾斜堤

31日

県は31日、南三陸町の戸倉海岸で海岸堤防の災害復旧工事を行う。気仙沼・本吉地方では初めての堤防本復旧として、28年3月の完成を目指す。堤防のタイプは傾斜堤で、高さは既設の1・6倍となる海拔8・7メートル。背後を通る国道398号のかさ上げも計画している。



本復旧に着手する戸倉海岸。堤防高を示す看板の設置作業が行われている

戸倉中学校近くにあ
る戸倉海岸は、高さ20
メートル超の大津波によ
て大被害を受けた。新た
な堤防は県の計画に基
づき、明治三陸級の津
波を防ぐ海拔8・7メー
トル、延長約620メー
トルを復旧する。既設の堤
防高は海拔5・5メー
トルだった。

この海岸は、東北地
方整備局と県が、環境
や景観へ配慮するため
のモデル的地区に選
定。折立川河口には住
民に親しまれてきた潮
干狩り場があり、海岸

利用のための階段設置
などを検討している。
9月中にも3回目とな
る最後の会議を開き、
結果を堤防整備に反映
させていくという。

住民説明会で工事着
手に理解を得て、今回
は本復旧の第1弾工事
として、延長130メー
トルの決壊した部分に
土を盛り、既設の堤防

受けた後、くわ入れを行
う。県河川課による
と、着工式は気仙沼・本
吉地方で初の本復旧と
なるために開催し、今
後は行わないという。

と同じ高さにする。そ
の後、海拔8・7メー
トルで上げていく計画。傾
斜堤の中心は、既設堤
防とほぼ同じ位置にな
る。国の災害査定では
約14億円の復旧費用が
認められている。

着工式は31日午後1時30分から現地で行わ
れ、三浦秀一副知事、佐藤仁南三陸町長らが出